

会 員 各 位

平成 29 年 12 月 22 日

京都市産業技術研究所内
京 都 染 色 研 究 会
委員 長 杉 本 徳 行

第 772 回 研究例会の開催について

歳末の候 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当研究会の運営にひとかたならぬご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、この度当研究会では**第 772 回研究例会**を下記のとおり開催する運びとなりました。
ご多用とは存じますが万事お繰り合わせのうえ、是非ともご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

日 時 平成 30 年 1 月 29 日 (月) 14 時 00 分～16 時 20 分

会 場 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 2F 多目的ホール

京都市下京区中堂寺栗田町 9-1 京都リサーチパーク 9 号館南棟 (五条七本松西入南側)

(TEL. (075) 326-6100, FAX. (075) 326-6135)

参加費 染色研究会会員 : 無料 会員外 : 3,000 円

【内 容】

テーマ 『 WTiN Japan Digital Textile Conference 2017 に関する報告 』

講 師 (地独) 京都市産業技術研究所

次席研究員 向井 俊博 氏

2017 年 12 月 4 日、WTiN 主催の Japan Digital Textile Conference が開催されました。WTiN とは、商業誌 International Dyer や Digital Textile Magazine 等の発行をはじめとし、繊維産業に関する様々な調査報告や最新の技術動向を世界中へ発信している団体です。

今回の conference では、世界的なデジタル捺染の動向、日本国内でデジタル捺染に関するビジネスを行っている企業からの報告、また、最近のトレンドである繊維産業における Industrie 4.0 に関する話題提供がありました。例会では、特に、デジタル捺染技術の動向、および Industrie 4.0 に関連した新技術を中心に報告したいと思います。

テーマ 『 進化する 3D プリントから生まれる衣服 』

講 師 FREE-D

代表 小野 正晴 氏

新しいものづくりの手法として注目され存在感が増している 3D プリント、その技術も年々進化しており、デジタル化・ネットワーク化の波の中で、今後業界を問わず各所で製造手段としての広がる見込みです。

本講演では、3D プリンターから人が着ることができる服を生み出す研究の解説と、欧米を中心にファッション・アパレル分野で 3D 技術を使ったモノづくりがどのようなことを目指しているか、またその未来はどうなるのかを語ります。